

## 夏山合宿・穂高周辺

報告者：山本 功

期 日：2015 (H27) 年 8 月 9 日～16 日

メンバー：リーダー(I.Y)他 16 名

ルート：期日：(メンバー数)

室堂～薬師岳～雲ノ平～槍ヶ岳～涸沢：8/9～12：(1)  
焼岳～西穂小屋：8/9～11：(3)  
西穂高岳～奥穂高岳～涸沢：8/11～12：(3)  
涸沢～北穂東稜～槍ヶ岳：8/11～14：(3)  
室堂～薬師岳～雲ノ平～槍ヶ岳～涸沢：8/12～15：(1)  
涸沢～横尾～槍ヶ岳：8/13～15：(2)  
北穂往復：8/14：(1)  
北穂東稜：8/14：(1)  
前穂高北尾根～北穂高岳：8/15：(2)  
ドーム中央稜：8/15：(2)  
北穂高岳～南岳往復：8/15：(1)

## 室堂～涸沢縦走

報告者：H.O

期 日：2015 (H27) 年 8 月 8 日～12 日

メンバー：H.O (単独)

<コースタイム>

8/8：室堂 9:30—一ノ越 10:10—雄山 10:50—一ノ越 11:10—獅子岳 13:00—五色ヶ原  
14:50

8/9：五色ヶ原 4:30—越中沢岳 6:00—スゴ乗越 9:30—間山 11:15—北薬師岳 13:00—  
薬師岳 14:10—薬師峠 15:15

8/10：薬師峠 4:30—薬師沢小屋 6:10—雲ノ平山荘 9:00—黒部川源流 11:10—三俣山荘  
12:30—三俣蓮華岳 13:40—双六岳 15:20—双六小屋 16:00

8/11：双六小屋 4:30—槍の肩 8:30—槍ヶ岳往復—槍の肩 9:40—中岳 11:10—南岳 12:15  
—北穂高小屋 16:20—キャンプ場 17:30

8/12：北穂キャンプ場 7:30—涸沢岳 9:25—奥穂高山荘 9:40—涸沢 12:00

8 月 8 日 快晴

前日 23 時新宿発のバスで朝 7 時前に室堂到着。車中全く睡眠を取れなかったこともあり異常に身体がだるい。この先長いので、無理をせず室堂でしばし休息（仮眠）をとることにし、2 時間ほど休んだ後、9:30 出発。

今日の目的地は五色ヶ原に変更し、時間の余裕もあることから一ノ越から雄山往復を加えた。一ノ越からの道中、快晴の中はるか先に槍が見え快適な稜線歩きが続く。

暑さと荷の重さから獅子岳に着くころからばて始めペースがかなり落ちたが 3 時前には五色ヶ原に到着。テント設営。高山植物が咲き乱れているが、特にチングルマの群生が見事。

8 月 9 日 快晴

4:30 出発。前日の身体のだるさは抜け、朝涼しいうちは快調に歩を進めるが、日が昇ってくると直射日光をまともに浴び疲労感が増してくる。



越中沢岳を過ぎたあたりからペースが大きく落ち始める。結局、五色ヶ原からスゴ乗越まで 5 時間かかったのも、前日無理せず五色ヶ原までとしたのは正解だ

ったと思う。特に急な登りがある訳ではないがかなりばて、ほぼコースタイム通りのペースとなる。特に北薬師岳から薬師岳はコースタイム 40 分のところを 1 時間以上かかってしまった。

薬師峠キャンプ場に 15:00 過ぎに到着し、テント設営。

8 月 10 日 快晴

4:30 出発。薬師沢小屋までの下りはほとんど人にも会わずに進む。薬師沢からは高天原には向かわず雲ノ平への直登コースを進むが、かなり体力を消耗した。

快晴の中の雲ノ平はまさに別天地で、今度は家族と山小屋に数泊してゆっくり滞在してみたいと思う。快晴続きで雨水に頼っている山小屋は水不足で大変なようで、テント場からの水の運搬のアルバイトを求めているほど（20 リットルで 5 百円）。テント場で水を補給した後、祖父岳、黒部川源流に向かう。

三俣蓮華岳登頂後、疲労困憊のため巻道で双六小屋に向かおうとしたところ熊に遭遇。一度引き返し、稜線を進むこ



とにする。双六岳を経て双六小屋に到着。テント設営。

8月11日 快晴

4:30 出発。4日間連続の晴天の中、槍ヶ岳を常に望みながら西鎌尾根を進む。槍の肩にザックをデポして頂上往復。荷物がないと身体が浮くのではないかと思えるほど軽い。南岳小屋に昼過ぎに到着。この日はここで止めるか悩んだが、キレットに進むこととする。

2年前にキレット越えをした時はつらかった記憶が全くなかったのだが、その時は空荷、今回は20kg超ということもあり、かなりへばってしまい後半は休み休み進むことになり、結局4時間以上かかってしまった。この日の昼ぐらいから、腹は減っているはずなのに空腹感がなく食欲が湧かなくなってきた。北穂小屋に着きテラスで休憩、生ビールを飲んだところ急に酔いが回ったのか気分が悪くなってしまった。キャンプ場到着は17:30、食事も摂らずに就寝。

8月12日 晴れ

この日は奥穂の後、西穂に向かって進み、0隊とジャンダルムあたりで落ち合う予定でいたが、早朝出発する元気が出ず、朝はゆっくり過ごす。食欲はないが、無理やりおかゆを流し込んだ後7:30に出発。

涸沢岳までが異常に長く感じる。過去何度か通っているが、これほど長く感じたことはなかった。9時半すぎに奥穂山荘に到着。頂上だけでも行こうか考えながら小屋前で休んでいるとNさんの声が聞こえ、合流。結局そのまま涸沢に下ることとした。

涸沢定着後にバリエーションルートも登る予定だったので、登攀具一式も含めた装備を担いでのロング縦走となりました。4日連続の快晴という奇跡的な天候に恵まれ、様々な高山植物や素晴らしい景観を堪能できました。内臓疲労ゆえか食欲をなくすという初めての体験もし、荷の重さが如何に負担となるかを体感した山行でした。

